ロジスティクス研究会
ファックス通信
題字 浅井時郎東ト協名誉会長
インターネット・ホームページ
URL http//www.totokyo.or.jp/
e-mail：sounenbu@tta.ne.jp

ひびき

～安全と安心の共創～

(社)東京都トラック協会
編集人 大淵隆次
東京都新宿区四谷３丁目１番８号
ＴＥＬ.０３－３３５９－４１３７
ＦＡＸ.０３－３３５９－６０２０

２００７年９月２８日発行 ９月号 Ｎｏ．１５２

※※

◇「投稿文」　　　　足立支部　田代　昌明［㈱三急運輸］

先日の納涼会では「当局功労者賞」受賞に対しまして、多くの方から御祝辞や心温まるお祝いを頂き誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

さて、不肖私、３５歳の頃、法事の時に菩提寺の住職から、お前、運送会社をやっているなら、これを詠んで経営に役立ててみろと言われ、今でも大切にしている「古い句」があります。理屈っぽいですが詠んでみてください。

◎「花びらや色や香りを損なわず、ただ蜜味のみをたずさえて、かの蜂の飛び去るごと　人の住む村々に、かく牟尼尊は歩めかし。」という言葉がある。

私なりに訳しますと、◎運送会社のﾄﾞﾗｲﾊﾞｰはさり気無く、次から次へと荷物を運んで行く。ただ運賃(給料)を稼ぎだすために、無駄口は話さず問題も起こさず、日本全国、人の住む場所へ、毎日、来る日も来る日も汗して働いている、この姿は言葉には出さないが世の中の偉い人はちゃんと視ています。・・・と。裏を返せば、花びら(荷物)を乱暴に扱ったり、相手に暴言を吐いたりすると、関係者やその会社の偉い人程、その行為を視ているので、後々大問題になり大切な蜜味(運賃)が無くなり、本人は基より会社自体も死活問題になりますと・・・・。みなさんいかがですか？　感想は今度、ロジ研の行事でお会いしたときにお聞かせください。

◇壮年部長随想リレー　　荒川支部　斉藤　彰悟［ｴｽｴｲﾛｼﾞｽﾃﾑ㈱］

我が町「荒川・南千住」を思う

私の育った町、荒川区南千住は、東京湾から隅田川を遡り、白髭橋を越えた西岸にあります。運送業者の端くれとしては、国道４号線の大関横町から千住大橋の手前側で、明治通りの北側あたりと説明すれば分かって貰えるのかと思います。

父の代で弊社が創業した昭和３２年頃の南千住は、隅田川からの海運による運搬と、それらを需要家まで運ぶ運送業や、隅田川貨物駅を中心とした貨物の集積・離散地としての機能がありました。当時は、東京ガスの千住工場、日本石油の隅田川油槽所、セメント工場のサイロ等もあり貨物運送事業としては適地だったのではないかと思います。

その後、地下鉄日比谷線の開通と南千住駅の新設、近年では「つくばエクスプレス」の地下駅も開業致しました。

そのような中で、南千住駅を中心とした周辺や、隅田川沿い等が再開発事業により、大規模な高層マンションの建設ラッシュがあり、今でも工事途中の高層建物が数多くあり、現在では、見違えるような環境に変化して参りました。

隅田川の白髭橋から上流側には、川の堰堤を利用した数Ｋｍにもわたる遊歩道や、土手下の水辺も整備され、更に各所に公園も出来て、穏やかな隅田川の川辺で過ごせる憩いの場所として賑わうようになってきています。正にリバー・フロントと呼ばれる地域になり、圧巻は、毎年夏の隅田川花火大会です。

南千住も、以前のような地域から、快適で住み良い地域へと生まれ変わってきております。

東京都トラック協会荒川支部の壮年部としても、地域環境の変化を見据え、次代に残せるような新しい取り組みを目指して参りたいと考えておりますが、微力ですので、未だ力及ばずという状況です。

《百文字のひろば》　　杉並支部　佐々木 由雄［㈱須田運輸］

僕の住所は陸の孤島とも言われる線路が一本もない武蔵村山市です。

近くに狭山丘陵などがあり、緑が多く自然がいっぱいの市です。

ダイヤモンドシティという、一つの町が出来て賑やかでもあり・・・・

沢山の自然と近代的な建物が在るとても心和むところです。

◇特集

「第１回オープンセミナー：森田富士夫氏の講演を拝聴して」

研修委員会副委員長　杉並支部　小俣　明彦［㈱西荻貨物］

安全管理体制のあり方が様々な場面で問われている昨今、安全への取組が企業の存亡に関る最重要項目となっています。

しかし、中小の運送会社に於いては、低運賃の中、作業の効率化による人員削減、時間指定の配達等で運転手の負担が増加し、安全と相反するような場合もありがちであります。

今回、森田氏から安全確保への経営者、社内体制、現場での取組の３つの側面からのアプローチ、運送事業に求められる使命、社会的背景についてお聞きした。

アルコール検知器はなくて当たり前、会社にあるのがおかしいという話を聞いて意をつかれた。サポート機器を導入して、危険因子を見つけることより、安全に対する自覚と意識をもたせることが大切である。経営者が根幹から認識を持って安全確保へ体制を築いていかなければならない。

また、今深刻化している人手不足についても、古い固定概念をすて、女性ドライバーの採用など、企業努力が必要であるとお話された。

「ゼロからの風上映会」

研修委員長　葛飾支部　鈴木　貢［㈲すずか梱包運輸］

ロジ研ではこの度、「ゼロからの風」と云う映画の上映を行なった。初めての試みである。

これはある一人の人間のコミットした想いを実現に向けて突き進んでいった感動ドキュメントである。

不可抗力である「事故」と意図的な車両を利用した「犯罪」とは別なものであるというメッセージを継続して発信し続け、ついには国を動かしてしまったという功績には非常に大なるものがあると思う。

かけがえのない命の尊さ・重みを伝えているこの映画は、そのまま我々ロジ研の今回のテーマ「安全と安心の共創」に通じるものがあるということで、各方面に働きかけ何とか今回の上映の運びとなったわけだが、内心この映画の上映に不安がなかったわけではない。職責上過料に情状酌量を求める我々と厳罰化を推進する製作者側とは相容れないものがあるのではないかと考えたからだ。しかし映画の中で田中好子扮する鈴木共子さんが誰でも加害者になるかもしれないと言った警察官の言葉を遮り、厳罰化による命の重みの尊重を訴えた場面では、やはり意識付けの問題なのだと感じた。

放映終了後、大勢の方に今回の企画は良かったよと声をかけられ、本部長と二人、ほっと肩の荷を卸した気分でした。また、各支部に於いてこの映画を利用したい方がおりましたら本部研修部まで、連絡いただければご相談に応じます。

【アンケート集計結果】

上映会開催、参加者 130 名、アンケート回答 91 名。評価は「大変良かった」71 名（78.0%）、「良かった」19 名（20.9%）、「まあまあ」1 名（1.1%）であり、回答者のほぼ全員より好評価をいただけた。

また、10 名を超える方が社内研修等上映会をしたいとの声があった。

◇お知らせ《行事予定》

◇正副本部長会議 10 月 11 日(木)16:00～ 於：東ト総合会館６階
◇幹事会　　　　 10 月 11 日(木)18:00～ 於：東ト総合会館６階
◇第２回ｵｰﾌﾟﾝｾﾐﾅｰ 10 月 18 日(木) 18:00～ 於：東ト総合会館４階
◇ロジ研 20 周年特別企画
　○「第 13 回温故創新セミナー、海外企業視察・交流会」
　・日　時　平成 19 年 11 月 21 日(水)～25 日(日)
　・テーマ　温故創新「海外で活躍した日本人－山田長政を訪ねて」
　　　　　　企業視察「現地物流企業視察と交流」
　・行　先　タイ「バンコク、アユタヤ他」
○外務省 HP 日タイ修好 120 年記念事業
http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/thailand/jpth120/event/index.html

◇女性部セミナー10 月 17 日（水）13:30～　於：東ト総合会館４階
◇三組織ﾁｬﾘﾃｨﾎﾞｳﾘﾝｸﾞ 10 月 20 日（土）15:50～ 於：ﾊﾀﾎﾞｳﾘﾝｸﾞｾﾝﾀｰ